



野生植物  と
わたしたち  の
暮らしを支える
フェアワイルド



もし今、私たちが野生植物資源を 使えるだけ使ってしまったら？

過剰採集や生育地の環境悪化によって、
利用されている植物の3分の1の
種の存続が脅かされているといわれています。
今、過剰に利用すれば将来的にその植物が
使えなくなってしまうだけでなく、
そうした植物を利用する知恵までも失われて
しまうかもしれないのです。



世界の植物の状況

人々は様々な形で植物を利用しています。たとえば薬、食べ物、香り、装飾品など。日本人も漢方薬やお香、ハーブ、化粧品、スパイスなどとして利用しています。特に日本は薬用・アロマティック植物やその製品の主要な輸入国です。

一方、野生植物の原産地域はしばしば世界の貧困の地域と重なることも多いのです。たとえばアジアやアフリカの地域には、その国の8割の人々がその一次的な健康維持を、薬用植物を用いた伝統医療に依存している国があります。

薬用・アロマティック植物の輸入* (2007年)

輸入国	輸入金額(米ドル)	輸入量(kg)
米国	247,601,384	67,387,437
香港	179,050,628	50,324,804
ドイツ	154,250,000	47,176,771
日本	117,981,544	28,431,569
フランス	80,009,985	18,380,625
韓国	55,416,669	33,294,613
スペイン	51,309,122	15,711,003
中国	34,582,744	19,327,106

第4位



©Martin Harvey / WWF-Canon

* 図中の薬用・アロマティック植物は、実行関税率表中のHSコード1211 <主として香料用、医療用、殺虫用、殺菌用その他これらに類する用途に供する植物及びその部分(種及び果実を含み、生鮮のもの及び乾燥したのものに限るものとし、切り、砕き又は粉状にしたものであるかないかを問わない)>に分類されるものとする。

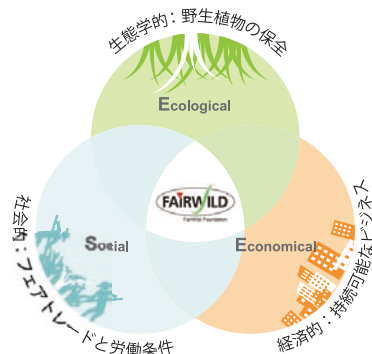
フェアワイルドの目指すこと

フェアワイルド・ファウンデーションは2008年に設立されました。野生から採集される植物の持続可能な利用と、将来にわたる種の存続を確保すると同時に、地域の伝統や文化を尊重し、現地の採集者などかかわるすべての人々に対して公正にその生活をサポートすることを目指しています。



フェアワイルドとは？

フェアワイルド基準は「生態学的 (植物の保全)」、「社会的 (フェアトレードと労働条件)」そして「経済的 (持続可能なビジネス)」という3つのコンセプトを融合させた基準です。第三者機関の監査を受け、基準の実行を内外に示すことのできる「認証」制度も提供しています。



フェアワイルドの対象

自然の生育地域から採集された植物、菌類 (キノコなど) や地衣類、またはそれらからできた製品。



以下のものは含まない

- 動物や動物から作られるもの:
肉、卵、蜂蜜、蝉など
- 栽培された植物の製品*
- 外来種・再導入された種*
- 木材

*例外についてはケースバイケースで判断する



対象となる植物は原材料や製品となり、市場に流通します。



基準に則って採集・加工されたハーブ、薬草、芳香植物、ナッツなどの原料と、それらから作られた食品、化粧品、ハーブティーなどの製品

野生植物とわたしたちの暮らしをつなげるフェアワイルド

～ 採集現地と消費市場を双方向に結ぶ仕組み～

フェアワイルド認証と他の認証の違い

- ・フェアワイルド認証は、**野生の植物**を対象として作られた、唯一の認証スキームです。
- ・フェアワイルド認証は、資源量の評価や、持続可能な採集量の判定などをおこない、**生態系**の維持の側面からの持続可能性を確保しています。
- ・フェアワイルド認証は社会的責任やフェアトレードの考え方をとりいれ、植物だけでなく**人々**にとってもフェアなものです。
- ・フェアワイルド認証は他の補完的なスキーム、たとえばオーガニック認証などと並行して取得することができます。



流通経

フェアトレードの実
取引の各ステップご

消費側から生

フェアワイルドプライス
フェアワイルドプレミ
努力への対
持続可能な需要により
インセンテ

採集現地では

資源量の評価と管理計画の構築

必要に応じた採集者へのトレーニングの提供による持続可能な採集の支援



©FRLHT



©Eanghourt Khou / TRAFFIC

● 認証を受けた製品は…

- ・品質チェックを受けた天然の製品です。
- ・持続可能で計画的に供給されます。
- ・透明性のある流通経路を経て供給されます。
- ・野生植物の資源問題に配慮した製品です。
- ・合法的で社会的責任が確保された製品です。

● フェアワイルド認証の実施にかかる費用

- ・生産者が認証を取得するための監査にかかる費用
- ・持続可能な採集の努力への対価として設定するフェアワイルドプレミアム
- ・フェアワイルドの認証マークを製品につける際のライセンス料(年間の収益に応じて)

路では

施と書類による報告
とに透明性を確保

産地への還元

による公正な価格設定
アムとして採集者の
価の還元
フェアワイルド導入への
イブを付与

消費市場では

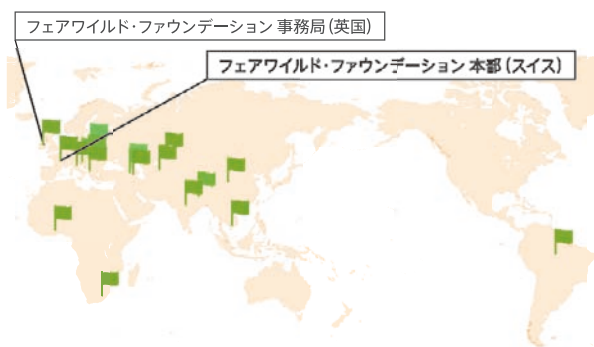
トレーサビリティと社会的責任の確保された製品の販売
認証マークの提供による明快かつ広い認知



フェアワイルド基準を実施している採集地域

基準に則って採集をおこなう地域は世界で増えはじめています。

最初の認証製品は米国、ヨーロッパ、カナダで市場に出荷されました。フェアワイルド基準の施行や認証の取得に関心を持つ企業も増えつつあり、今後更に多くの企業の参画が期待されます。



各地域での活動

インド

カルナタカでは、インドの伝統的な薬や香料に使われるアイランサス・トライファイザ *Ailanthus triphysa* の木の皮を剥いだり木を切り倒したりすることなく、樹液を採集することができるようになりました。



樹皮に切込みを入れる新しい方法での樹液採集

中国

長江上流地域の持続可能な生活を進める活動のひとつとして、ナンゴミシ *Schisandra sphenanthera* などの薬用植物の採集者へのトレーニングが実施されました。このプロジェクトによって、持続可能な取引関係が米国のバイヤーと結ばれています。トレーニングを受けた採集者による持続可能な採集が開始しています。



トレーニング実施に向け、生産者の組合を組織する採集者たち

カザフスタン

カザフステップエコリージョンの周辺3ヶ国で重要な野生資源であるカンゾウ *Glycyrrhiza glabra* の生産にフェアワイルド基準が活用されました。カザフスタンでは認証も取得しています。



カンゾウの品質について議論している (写真はアフガニスタン)

ブラジル

アマゾナス州の女性の共同組合と天然化粧品企業の企業が、日焼け止めに使われるミリチーヤシ *Mauritia flexuosa* やエッセンシャルオイルに使われるアニバ・カネリラ *Aniba canelilla* などいくつかの種について、持続可能に採集された製品のマーケティングで協力し合うことになりました。このプロジェクトの中でフェアワイルド基準を試験的に導入しました。



採集された果実を丁寧に仕分けする

フェアワイルドへの参加の仕方

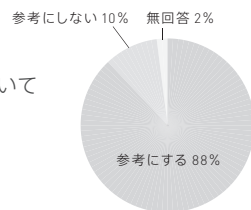
自社製品の原材料の調達について考え、調べてみる	自社の供給元が認証を取るようにサポートする
フェアワイルド基準の原則をビジネスに適用する	持続可能な植物利用に関する情報を顧客に伝える
認証製品を調達するための準備をする	フェアワイルドのコンセプトに合意し、それを広く伝える
認証製品を輸入・購入する	フェアワイルド・ファウンデーションの活動をサポートする
認証を受ける (野生植物の採集をおこなっている企業)	

フェアワイルド採用のメリット

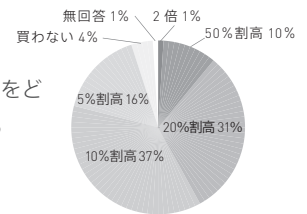
フェアワイルドの認証マークをつけた製品には社会的な価値が加えられます。その製品を取り扱うことで、生態系や社会への企業の責任を果たしたことを対外的に示すことができます。

(参考) トラフィックが出展したイベント(2009年7月、横浜)でおこなったアンケート結果(回答数220人)

Q. 商品に「FairWild」の表示マークがついていたら、買うときに参考にしますか？



Q. 商品に「FairWild」の表示商品をどの程度高くても購入しますか？



FAQ よくあるご質問

Q. どの認証機関がフェアワイルドの監査をしてくれますか？

A. スイスに本部のある Institute for Marketecology (IMO) が現在のフェアワイルド認証機関です。IMO は世界各地に事務所を持っています。また将来的には認証機関を増やしていく計画です。詳しくはウェブサイト (www.FairWild.org) をご確認ください。

Q. 認証にかかる費用はどのように決まりますか？

A. 費用の計算は、種の特性や生産プロセスの複雑さ、調査の場所によって個別におこなわれます。認証を取得した後、毎年、現地での監査が必要になります。

Q. どのようにしたら認証を取得できますか？

A. もし野生から採集される植物を取り扱っていたら、認証取得の候補者です。認証を取得する、あるいは認証された原料を製品に使うことができます。認証の対象種を決め、認証取得を希望する旨をフェアワイルド事務局かまたは認証機関に伝えてください。



フェアワイルド基準の原則

野生の植物資源の維持

環境に対する悪影響の回避

法律、規則、協定の遵守

慣習上の権利および利益の配分の尊重

採集者と経営者の間での公正な契約関係の促進

野生からの採集活動への子供の参加の制限

採集者とそのコミュニティの利益の確保

野生からの採集事業で働くすべての労働者の公正な労働条件の確保

責任ある管理手法の適用

責任あるビジネス手法の適用

購入者による関与の促進



連絡先

トラフィック イーストアジア ジャパン
〒105-0014 東京都港区芝 3-1-14 日本生命赤羽橋ビル 6F
Tel: 03-3769-1716 Fax: 03-3769-1304
E-mail: traffic@trafficj.org <http://www.trafficj.org>

フェアワイルド事務局: 英国ケンブリッジ
TRAFFIC International
219a Huntingdon Road, Cambridge CB3 0DL, UK
Tel: +44 1223 277 427
Fax: +44 1223 277 237
E-mail: Secretariat@FairWild.org

詳しい情報は下記ウェブサイトまで:
(英語) <http://www.FairWild.org/>
(日本語) <http://www.trafficj.org/theme/medicinal/fairwild.html>

フェアワイルドのパートナー

トラフィック、IUCN (国際自然保護連合) 種の保存委員会の薬用植物専門家グループ、WWF (世界自然保護基金)、ProFound、SIPPO (Swiss Import Promotion Program) などがフェアワイルドの設立、運営にかかわっています。



この冊子は日本経団連自然保護基金のご支援により作成されました。

Art direction and design: Kenichi Yasuda, Kohsuke Kobayashi, Toshiaki Osada.

表紙画像: 左より ©MKS Pasha, ©Sladiana Bundalo, ©C.Arpana Basappa, ©AVIVE, ©Antonia Schneider/IMO (flower), ©TRAFFIC (product)

2011.9

TRAFFIC
the wildlife trade monitoring network

is a joint programme of

